

摂食・嚥下の看護計画 評価指標に困っていませんか？

専門看護師(CNS)
認定看護師(CN)
特定看護師便り

11月号

相談ケースAさんの訓練成果から考えてみよう

相談内容

10代後半のAさん。特殊スプーンなどの自助具で自力摂取。食事を噛み砕き、口の中でまとめるのが苦手なため、軟飯きざみ食にあんかけ*使用。軟飯やあんかけ*が好みに合わず、最近食事が進まない。

*あんかけ:バラバラ・ポソポソした食材にからませる、とろみ付のだし汁。口の中で食事がまとまり、誤嚥・窒息予防になる。

{看護問題}例

- ・咀嚼と食塊形成が未熟である。
- ・本人の食べたいものが食べられないストレスがある。
- ・食事が進まず、体重減少傾向にある。

Aさんの食べる機能の課題は？ 今までは...

- [達成] 口周りの過敏症状がない
- [達成] 鼻呼吸ができる
- [達成] 一口量を調整できる
- [達成] 舌と上顎で押しつぶす

[未] 捕食から嚥下まで口を

閉じ続ける(口唇閉鎖力向上)

- [未] 舌と顎と頬を運動させながら歯ですり潰す(咀嚼)
- [未] 口腔内で食物をまとめる(食塊形成力向上)...等

食形態の工夫で代償

軟飯、きざみ食にあんかけ*使用し、食材にまとまりをもたせる

好みのものが食べたい!

毎日コツコツ頑張るのは得意!

成果が数字で見えるとやる気アップ!

{期待される結果}例

口を閉じる力が向上する

(どれくらいの期間で期待される測定値はいくらか...)

摂取時間が短縮する (どれくらい短縮するか、期待値はどうか)

食形態が上がる

(あんかけが不要になる、軟飯から米飯になる、等)

体重が増加する

(どのくらいの期間で、増加量はどうか)

具体的な数値や変化の見える指標にするのがポイント!

{具体策}例

機能面へのアプローチに力を入れた具体策を導入し、多職種連携

口唇閉鎖力
初回測定

月1回測定 (小児栄養ラウンド時)

口輪筋トレーニング 夕食後5分



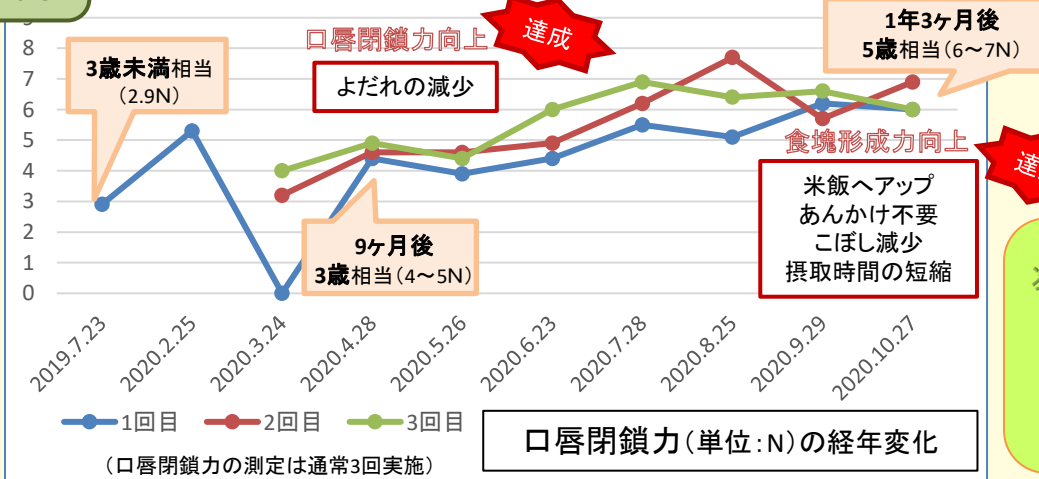
りっぶるくん使用
(口唇閉鎖力測定器)
株式会社松風



りっぶるとれーなー使用
(口輪筋トレーニング器具)
株式会社松風

STは吹き戻しの訓練も!

{結果}



次の課題は...⇒

さらなる食塊形成力向上と咀嚼の向上により食形態アップを目指す場合
ブクブクうがいの練習をお勧めしています!

担当者



摂食・嚥下障害看護CN
青木 ゆかり
1BC棟所属
外来摂食相談担当

発行元: 千葉リハビリテーションセンター
看護局
CNS・CN・特定看護師会議